

北海道港湾空港建設協会

会報

平成30年 9月

# 北のみなと

No.95

「写真提供：函館開発建設部」



## — 目 次 —

### Report

日本港湾空港建設協会連合会 第35回通常総会開催 ..... 1

### 受賞

平成30年春の叙勲受章者 (株)田中組阿部芳昭会長が端宝小綬章を受章 ... 2  
 平成30年度 国交省の「海の日」海事関係功労者表彰 ..... 3  
 平成30年度 漁港漁場関係事業優良請負者表彰 ..... 3  
 平成30年度 北海道開発局港湾空港関係功労者の表彰 ..... 4  
 平成30年度 北海道開発局優良工事等の表彰 ..... 5  
 平成30年度 各協会の表彰に関する記事 ..... 7  
 ・(公社)日本港湾協会会長賞表彰 港湾功労者賞  
 ・(公社)日本港湾建設協会連合会会長賞表彰 港湾功労者賞

### 各種記事

平成30年度 第1回小樽港フィールド・ラーニング ..... 11  
**我が社の安全衛生管理**  
 (株式会社 藤共工業 取締役工事部長 野川 和雄) ..... 12  
**私の趣味「趣味遍歴」**  
 (株式会社 吉本組 社長 吉本 貴昭) ..... 14  
**新造船の紹介**  
 (株)不動テトラ) ..... 16

### Topics

#### イベント

苫小牧港屋根付き岸壁供用式典 ..... 18  
 室蘭港のフェリー航路開設 ..... 20  
**大型客船等寄港**  
 ・今年度初となるクルーズ客船「ノルウェー・ジュエル」が小樽港へ初寄港 ... 22  
 ・釧路港にクルーズ客船「ばしふいっくびいなす」寄港 ..... 23  
 ・雪が残る利尻島に「カレドニアン・スカイ」寄港 ..... 24  
**各港で舟漕ぎ大会、ボートレース開催**  
 (釧路、苫小牧、函館、室蘭、稚内) ..... 25

### Information

広報委員会だより ..... 29



江良漁港整備方針

- ・衛生的な陸揚げ・荷さばき環境を確保するため、屋根付き岸壁などの整備を行う。
- ・大規模災害発生後における水産業の早期再開のため、耐震性能を強化した岸壁及び道路の液状化対策を行う。
- ・港口からの進入波の抑制や防波堤からの越波を防止し、港内静穏度の向上を図るため、防波堤の嵩上げや突堤の整備を行う。
- ・漁業活動における就労環境の改善を図るため、低天端岸壁への改良や船揚場に屋根を整備する。

# 日本港湾空港建設協会連合会 第35回通常総会開催

日本港湾空港建設協会連合会の第35回通常総会は、平成30年5月9日（水）に東京都の明治記念館で全国より役員、代議員が出席し盛会裡に開催された。川島会長の挨拶に続き、国土交通省菊池港湾局長の来賓祝辞があり、議事に移った。

議案は、平成29年度事業報告および収支決算、平成30年度事業計画（案）および収支予算（案）が提出・承認されたのち、任期満了に伴う役員を選出が行われた。

役員を選出では、林田博氏が会長に選任され、宮崎英樹副会長が再選された。なお、総会后、来賓、会員等の方が出席されて情報交換会を開催した。



## 平成30年度 事業計画

### 1 会報の発行

港湾空港予算及び港湾空港関係の諸情報並びに会員の意見・要望等を掲載した会報4回／年発行し、会員相互の情報交換を行う。

### 2 研修講習会等の開催

港湾空港建設事業の社会的地位の確立と技術の開発向上を目的とした講習会及び見学会を実施する。

講習会の開催は、春、秋の2回中堅技術者を対象に東地区、西地区において実施し、11月中旬に経営者及び幹部職員を対象に経営セミナーを東京都において開催する。

また、「独占禁止法とコンプライアンスに関する講習会」を（一社）日本埋立浚渫協会と共催で行う。その他、ミニ研修会（行政）を協会会議室で随時開催する。

### 3 要望及び意見等の発信

①港湾空港関係予算及び港湾空港事業に係わる諸課題について、関係方面及び関係機関に対して要望または意見交換を実施する。

②港湾空港に係る当面の諸課題に関する要望や意見交換を各地区連合会と共同して、関係機関に対して実施する。

③都道府県協会が行う港湾空港建設に係る当面の諸課題に関する関係機関との要望や意見交換を支援、共同して実施する。

### 4 調査研究

①港湾空港建設業の発展に関する調査研究及び資料の収集等を行う。

②地区連合会技術委員会の活動経費に対して補助を行う。

③契約・設計・積算に関する調査研究。

④労働・安全・税制に関する調査研究。

⑤建設行政に係わる調査研究。

### 5 港湾及び空港の整備・振興に関する広報・啓発活動

①港湾及び空港の整備・振興に関し、広く社会一般に理解を得るための広報・啓発活動を行う。

②港湾及び空港の整備・振興の必要性を広く国政の場に反映するため、関係国会議員等の理解を得るための活動を展開する。

# 平成30年春の叙勲受章者 (株)田中組 阿部芳昭会長が 瑞宝章小綬章を受章

平成30年春の叙勲受章者が発表され、(株)田中組の阿部芳昭会長が国土交通行政事務功労で瑞宝章小綬章を受章した。阿部芳昭会長は、長年にわたり国土交通行政及び建設業に従事する傍ら、関連する各種団体の役員を歴任し、これまでの国土交通行政の推進、建設業の振興、発展に多大に尽力していることが高く評価された。



**阿部 芳昭 氏**

生年月 昭和22年 4月

- 学 歴** 昭和45年 3月 北海道大学 工学部 土木工学科 卒業  
昭和47年 3月 北海道大学 工学院 工学研究科 修了
- 職 歴** 昭和47年 4月 北海道開発庁 採用  
昭和47年 4月 北海道開発局 土木試験所第3研究部道路研究室  
昭和61年 3月 外務省出向 在フィンランド日本国大使館一等書記官  
平成9年 7月 北海道開発局 網走開発建設部長  
平成10年 6月 北海道開発庁 企画室長  
平成11年 7月 北海道開発局長官房・官房次長  
平成12年 4月 北海道開発庁 北海道開発局開発土木研究所長  
平成13年 3月 国土交通省 北海道開発局開発土木研究所長 辞職  
平成13年 5月 公益財団法人ツール・ド・北海道協会 専務理事  
平成18年 4月 株式会社田中組 入社 顧問  
平成18年 6月 同社 代表取締役副社長  
平成20年 6月 同社 代表取締役社長執行役員  
平成29年 6月 同社 代表取締役会長 現在に至る
- 団体歴** (一社)北海道建設業協会 監事、建築委員長  
(一社)札幌建設業協会 理事、建築委員長  
(一社)北海道農業建設協会 理事  
北海道港湾空港建設協会 理事  
北海道漁港建設協会 理事  
札幌商工会議所 36期2号議員、建設部会長  
北海道フィンランド協会 専務理事

# 平成30年度 「海の日」海事関係功労者大臣表彰受賞者

国土交通省の平成30年度「海の日」海事関係功労者大臣表彰受賞者として道内関係者では港湾関係で白鳥建設工業(株)代表取締役会長の堀松宏朗氏が栄誉に輝いた。

堀松氏は、多年にわたり港湾建設事業の振興に努め、斯界の発展に寄与した功績が高く評価された。表彰式は7月25日に国土交通省共用大会議室で執り行われた。



白鳥建設工業株式会社  
代表取締役会長

堀松 宏朗 氏

生年月 昭和19年4月

## 略 歴

昭和43年4月	堀松建設工業株式会社	入社
昭和61年1月	堀松建設工業株式会社	常務取締役
平成12年5月	堀松建設工業株式会社	専務取締役東京支店長
平成15年5月	白鳥建設工業株式会社	代表取締役
平成24年5月	白鳥建設工業株式会社	代表取締役会長
		現在に至る

# 平成30年度 漁港漁場関係事業優良請負者表彰受賞者

水産庁の平成30年度漁港漁場関係事業優良請負者表彰で、道内からは(株)菅原組（本社：函館市 菅原修社長）が農林水産大臣表彰、(株)松本組（本社：函館市 大越雄司社長）が水産庁長官表彰にそれぞれ輝いた。両者の卓越した技術力と業績をたたえ、このほど表彰式が水産庁長官室で執り行われ、晴れの栄に浴した。

同表彰は、高い技術力と優れた施工管理で、他の模範となる成果を残した請負者を顕彰することで、円滑な事業の推進につなげることを目的に実施している。

## 農林水産大臣表彰



(株)菅原組  
菅原 修 氏  
代表取締役社長

### 会社概要

本社所在地	函館市
創業	昭和31年
設立	昭和34年
資本金	6,500万円

## 水産庁長官表彰



(株)松本組  
大越 雄司 氏  
代表取締役社長

### 会社概要

本社所在地	函館市
創業	大正15年
設立	昭和22年
資本金	1億円

# 平成30年度 北海道開発局 港湾空港関係功労者表彰

北海道開発局は7月20日、札幌第1合同庁舎で本年度の「港湾空港関係功労者表彰」及び「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の表彰式を行い、眞田仁港湾空港部長が受賞者一人ひとりに表彰状を授与した。

この表彰は、港湾空港整備事業の推進を目的として、港湾空港関係の業務等に関し、功労のあった方々を対象に実施している。

今年度の功労者表彰は、株式会社宮原組（厚岸町）代表取締役 宮原文憲氏、株式会社濱谷建設（釧路市）代表取締役社長 濱谷美津男氏と前留萌市長高橋定敏氏が受賞した。

また、海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰は、若旺会（岩内町）が受賞した。

眞田仁港湾空港部長は表彰状授与後の挨拶で、「港湾空港事業は地域産業や生活を支える重要なインフラであり、食料供給基地である本道にとっては国策を担うもの」と強調し、受賞者のこれまでの功績に感謝するとともに、今後も港湾空港整備事業への理解と協力を求めた。



眞田 仁 港湾空港部長



**推薦** 北海道港湾空港建設協会  
(一社)日本海上起重協会北海道支部  
全国浚渫業協会北海道支部

**推薦** 北海道港湾空港建設協会  
(一社)日本海上起重協会北海道支部



株式会社 宮原組  
代表取締役  
**宮原 文憲 氏**  
生年月 昭和27年2月

**略歴**

昭和50年4月	フジタ工業株式会社	入社
昭和52年4月	株式会社宮原組	入社
平成元年5月	株式会社宮原組	代表取締役
	現在に至る	



株式会社 濱谷建設  
代表取締役社長  
**濱谷 美津男 氏**  
生年月 昭和36年9月

**略歴**

昭和60年4月	株式会社村角建設	入社
昭和63年5月	株式会社濱谷建設	入社
平成24年12月	株式会社濱谷建設	代表取締役社長
	現在に至る	

# 平成30年度 北海道開発局 優良工事等の表彰

RFF/13/E10'

RFF/13/E10'

北海道開発局は7月26日、札幌第1合同庁舎で平成30年度優良工事等局長表彰の授与式を行った。平成29年度に完成した工事1,722件の中から局長表彰工事35件（37社）が選定され、工事を施工した企業と、その工事に携わった技術者に和泉晶裕局長が表彰状を手渡し、栄誉をたたえた。

港湾・空港・漁港部門における局長表彰は、①㈱松本組が施工した「函館港若松地区岸壁建設工事」②白崎・堀松経常JVが施工した「厚岸漁港-4.5m岸壁改良（上部工）その他工事」の2件（3社）が受賞した。

開発建設部長表彰は、函館（東亜建設工業㈱）、小樽（㈱吉本組）、室蘭（道南綜合土建㈱）、釧路（岩倉・渡辺経常JV）、留萌（白鳥建設工業㈱）、稚内（㈱中田組）が受賞した。

## — 港湾・空港・漁港部門における受賞工事 — 【北海道開発局長表彰】

### ○工事名：函館港若松地区岸壁建設工事

発注者：函館開発建設部

施工者：㈱松本組

技術者：



堀 儀之 氏



### 〔表彰理由〕

当工事は、栈橋構造の岸壁整備における鋼管杭打設を施工。別件施工のプレキャストコンクリート受梁設置に影響を与えない施工精度が求められる中、波浪情報システムによる海象把握やUAVでの進捗可視化を行うとともに、異なる計測器による二重の法線管理と鉛直度管理システムを活用し高い施工精度を確保した。

○工事名：厚岸漁港-4.5m岸壁改良（上部工）  
その他工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：白崎・堀松経常JV

技術者：



三浦 義史氏  
(白崎建設)



小塚 昭広氏  
(堀松建設工業)



〔表彰理由〕

厚岸漁港-4.5m岸壁改良工事は、潮位変動による作業制約を受けるなど、工程管理が非常に難しい条件下で、気象予測の把握に努め作業を効率的に進めた。関連工事と調整を密に行い、作業スペースを確保し安全かつ円滑に工事を完成させた。土砂運搬では、濁水落下防止対策など環境へも配慮。出来形精度も良く、他の模範となった。

【各開発建設部長表彰】

○工事名：大島漁港建設工事

発注者：函館開発建設部

施工者：東亜建設工業(株)

技術者：山崎 勝弘氏

○工事名：美国漁港防波堤改良工事

発注者：小樽開発建設部

施工者：(株)吉本組

技術者：土門 浩之氏

○工事名：室蘭港築地地区岸壁西-9m  
改良工事

発注者：室蘭開発建設部

施工者：道南総合土建(株)

技術者：三谷 高司氏

○工事名：羅臼漁港防波護岸ケーソン製作据付  
その他工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：岩倉・渡辺経常JV

技術者：小野寺 英志氏 (岩倉建設)

芋毛 雅氏 (渡辺建設工業)

○工事名：天塩港建設工事

発注者：留萌開発建設部

施工者：白鳥建設工業(株)

技術者：竹野 利史氏

○工事名：仙法志漁港西護岸改良その他工事

発注者：稚内開発建設部

施工者：(株)中田組

技術者：諏訪 数昌氏

# 平成30年度 (公社)日本港湾協会会長賞表彰港湾功労者賞

## 北海道港湾協会推薦 (順不同)

永年にわたり、港湾の発展に尽くされた功績顕著な方々に贈られる港湾功労者賞の表彰が行われた。平成30年5月23日函館アリーナで開催された(公社)港湾協会の第91回定時総会に先立ち、北海道港湾協会の推薦により道内から9名の方が表彰されました。受賞されました皆様には、心からお慶び申し上げます。



**小林 敏夫 氏**  
生年月 昭和22年 2月  
共同通船(株) 代表取締役社長

**略 歴**

昭和45年 共同通船(株) 入社  
昭和51年 同社 代表取締役  
現在に至る



**田中 龍也 氏**  
三ツ輪運輸(株) 専務取締役

**略 歴**

昭和50年 三ツ輪運輸(株) 入社  
平成20年 同社 取締役東京支店長  
平成28年 同社 専務取締役  
現在に至る



**桜井 博 氏**  
生年月 昭和31年 7月  
東洋建設(株)北海道支店 次長

**略 歴**

昭和50年 北海道開発局  
平成27年 留萌開発建設部 次長  
平成29年 東洋建設(株) 北海道支店次長  
現在に至る



**岸 哲也 氏**  
生年月 昭和35年 5月  
北日本港湾コンサルタント(株)  
技術顧問

**略 歴**

昭和56年 北海道開発局  
平成25年 函館開発建設部 次長  
平成27年 (一社)寒地港湾技術研究センター  
調査研究部 部長  
平成30年 北日本港湾コンサルタント(株) 技術顧問  
現在に至る



**柿崎 永己 氏**  
生年月 昭和31年 4月  
(一財)港湾空港総合技術センター  
北海道支部 事業第一部長

**略 歴**

昭和50年 北海道開発局  
平成28年 函館開発建設部 次長  
平成29年 (一財)港湾空港総合技術センター  
北海道支部 事業第一部長  
現在に至る



**秋葉 洋一 氏**  
生年月 昭和32年 3月  
(株)エクサ設計 顧問

**略 歴**

昭和50年 北海道開発局  
平成26年 留萌開発建設部 次長  
平成27年 (株)エクサ設計 顧問  
現在に至る



**中内 勲 氏**

生年月 昭和30年10月

(株)クマシロシステム設計  
企画営業部長

**略 歴**

昭和55年 北海道開発局  
平成25年 稚内開発建設部 技術管理官  
平成27年 (一財) 港湾空港総合技術センター  
北海道支部 事業第二部長  
平成29年 (株)クマシロシステム設計 企画営業部長  
現在に至る



**高木 哲夫 氏**

生年月 昭和31年11月

(一財)港湾空港総合技術センター  
北海道支部 事業第二部長

**略 歴**

昭和50年 北海道開発局  
平成26年 釧路開発建設部 技術管理官  
平成29年 (一財) 港湾空港総合技術センター  
北海道支部 事業第二部長  
現在に至る



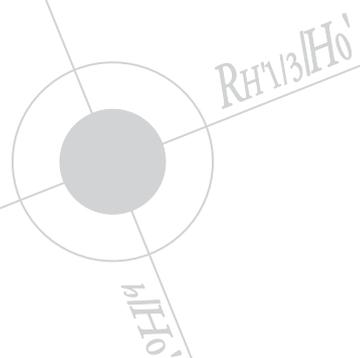
**森 信幸 氏**

生年月 昭和31年 5月

(株)不動テトラ北海道支店  
技術顧問

**略 歴**

昭和55年 北海道開発局  
平成28年 函館開発建設部 函館港湾事務所長  
平成29年 (株)不動テトラ北海道支店 技術顧問  
現在に至る



# 平成30年度 (公社)日本港湾建設協会連合会会長賞表彰港湾功労者賞

## 北海道港湾空港建設協会から11氏が受賞

経営の合理化、工費の適正化、技術の向上、作業の効率化、従業員の労務・厚生改善等で協会の発展に尽くした功績を顕著として、平成30年5月9日東京都内の明治記念館で開催された日本港湾空港建設協会連合会第35回通常総会において、当協会から次の11氏が会長表彰を受賞されました。受賞されました皆様には、心からお慶び申し上げます。

### 代表者表彰



**白川 隆司 氏**  
生年月 昭和38年9月  
東洋建設(株)北海道支店 支店長

#### 略 歴

昭和61年 東洋建設(株) 入社  
平成23年 東洋建設(株)北海道支店 営業部長  
平成24年 東洋建設(株) 北海道支店長  
現在に至る



**南 修 氏**  
生年月 昭和21年6月  
(株)南組 代表取締役社長

#### 略 歴

昭和44年 (株)海南 入社  
昭和48年 (株)南組 入社  
昭和60年 同社 取締役(非常勤)  
平成16年 同社 代表取締役社長  
現在に至る

### 従業員表彰 (順不同)



**大村 千尋 氏**  
生年月 昭和31年2月  
(株)田中組 土木工事課長

#### 略 歴

昭和46年 (株)田中組 入社  
昭和58年 同社 現場主任  
平成16年 同社 土木係長  
平成25年 同社 土木工事課長  
現在に至る



**宮本 裕一 氏**  
生年月 昭和33年8月  
藤建設(株) 土木副部長

#### 略 歴

昭和54年 藤建設(株) 入社  
平成15年 同社 土木次長  
平成22年 同社 函館支店長  
平成29年 同社 土木副部長  
現在に至る



**椿谷 力雄 氏**  
生年月 昭和33年5月  
白鳥建設工業(株) 取締役海事部長

#### 略 歴

昭和49年 白鳥建設工業(株) 入社  
平成25年 同社 海事部次長  
平成27年 同社 海事部長  
平成28年 同社 取締役海事部長  
現在に至る



**井上 美幸 氏**  
生年月 昭和34年1月  
(株)西村組 執行役員道東営業所長  
兼営業部長

#### 略 歴

昭和54年 (株)西村組 入社  
平成16年 同社 工事部長  
平成21年 同社 執行役員営業部長  
平成25年 同社 執行役員道東営業所長兼営業部長  
現在に至る



**祐川 敏之 氏**  
 生年月 昭和36年 8月  
 堀松建設工業(株) 工事長

**略 歴**

昭和56年 堀松建設工業(株) 入社  
 平成元年 同社 現場代理人・監理技術者・主任技術者  
 平成28年 同社 工事長  
 現在に至る



**宇治 正人 氏**  
 生年月 昭和38年11月  
 三協建設(株) 土木部長

**略 歴**

昭和57年 三協建設(株) 入社  
 平成2年 同社 事業所長(課長、次長歴任)  
 平成29年 同社 土木部長  
 現在に至る



**植木 康央 氏**  
 生年月 昭和40年 6月  
 機械開発北旺(株)  
 工事部工事担当部長

**略 歴**

昭和63年 北海道機械開発(株)入社  
 平成24年 機械開発北旺(株) 工事部工事長(現場代理人)  
 平成27年 同社 工事部次長(現場代理人)  
 平成29年 同社 工事部工事担当部長  
 現在に至る



**川合 智 氏**  
 生年月 昭和41年 5月  
 (株)松本組 執行役員土木本部長

**略 歴**

昭和63年 立興建設(株) 入社  
 平成2年 (株)松本組 入社  
 平成27年 同社 土木部長  
 平成28年 同社 執行役員土木本部長  
 現在に至る

**協会特別功労者表彰**



**宮崎 英樹 氏**  
 生年月 昭和15年11月  
 岩倉建設(株) 代表取締役社長

**略 歴**

昭和40年 (株)岩倉組入社  
 平成5年 岩倉建設(株)代表取締役社長  
 現在に至る  
 平成20年 北海道港湾空港協会会長  
 現在に至る  
 平成20年 日本港湾空港建設協会連合会副会長  
 現在に至る

# 平成30年度 第1回 小樽港フィールド・ラーニング開催

小樽開発建設部は平成30年7月17日（火）、同部庁舎で第10回小樽港フィールド・ラーニングを開催した。開建職員、民間業者など約60人が参加。日本データサービス(株)顧問の関口 信一郎氏が講師となり「北海道築港史 廣井 勇と北海道開拓」を演題に本道の築港の歴史や廣井 勇博士の業績について解説した。

小樽築港開始時や我が国初の近代築港の計画・築造に携わった初代小樽築港事務所長の廣井 勇博士の工学の考え方を学ぶ機会として平成24年度から実施。長く将来にわたって、小樽港北防波堤の維持補修のみならず今後の港湾整備に生かしていくことを目的としている。

主催者挨拶で、小樽開建小樽港湾事務所の矢野 隆博所長は「開拓史における港湾が果たした役割を学ぶとともに、大先輩に当たる初代所長の志に触れ、技術者としての強い心構えを身に付けよう」と呼びかけた。

講演では、関口氏が社会活動と交通は密接に関係しているとの考えを

示し、本道開拓の歴史と交通機関の進展を港湾と鉄道の面から紹介。江戸時代の天正18年から昭和20年代頃までの本道の築港の歴史などを解説した。その後、質疑応答を行い、築港の歴史や技術への理解を深めた。

(記事は北海道通信から抜粋して掲載しました。  
写真提供は、北海道開発局 小樽開発建設部)



講演する関口顧問



開会挨拶:小樽開発建設部 橋本部長



開会挨拶:小樽港湾事務所 矢野所長



熱心に講演に聞き入る参加者

# 我が社の安全衛生管理

株式会社 藤共工業 取締役工事部長 野川 和雄



## 1. はじめに



当社は創始者である故、工藤 操一氏によって、昭和15年5月に操業を開始し、昭和24年4月有限会社藤共工業を設立、その後、昭和49年3月に株式会社藤共工業へと組織変更し、平成15年12月に関連会社である西紋舗道株式会社と合併し現在に至っております。

官公庁を主体に土木・建築・港湾・舗装工事の請負を主に、アスファルト合材製造販売、生コンクリート/コンクリート二次製品の製造販売、石油製品仕入れ販売、一般貨物運送事業などを取り扱い経営基盤の充実を図り、「誠意と技術と安全で社会に貢献」を信条に持続的成長を実現していく企業を目指しております。



## 2. 安全衛生基本方針



当社は、「安全」と「健康」の確保を最優先として労働災害ゼロを目標に、安全マネジメントシステムを適切に実施し、安全な職場環境を実現することを目指しております。

### 【平成30年度 安全スローガン】

「健康な心と体で安全作業 目指すは笑顔の無災害」



## 3. 安全衛生管理計画



安全衛生基本方針を基に、今年度の目標として下記の通り策定し、各現場において安全衛生の向上に努めてまいります。

- ① 死亡災害ゼロ及び休業4日未満の災害を低減する。
- ② リスクアセスメントを活用し、RKYを確実に実施しリスクの低減と災害発生の予防を図る。
- ③ 5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）運動の徹底と働きやすい現場作業環境を構築する。



## 4. 安全衛生管理活動



### ①社内安全大会

毎年5月上旬に当社の安全大会を実施し、全部門従業員が参加しています。

安全大会では、現場労働者の安全意識の向上を目的とした労働災害に関する事例を交えた安全講話を実施しております。



社内安全大会

### ②社内安全パトロール・技術パトロール

毎月1回以上、役員と安全担当者による社内安全パトロールを実施し、不備な点の是正や、環境に配慮した安全対策の取り組みを指導し、マンネリにならないようにしております。

また、現場における技術的問題点を抽出し、より良い解決策を協議し、提案し、現場担当者の負担を少しでも



安全パトロール



技術パトロール

軽減して現場に集中できる体制をバックアップしております。

### ③交通安全

社員一丸となって、酒気帯び運転の撲滅やスピードダウンの励行を第一に安全運転意識の向上を図っております。

また、地域住民の方々と街頭での交通安全活動を行っております。

## 5. 作業所安全衛生管理活動

作業員不足が日常茶飯事になりつつあり、自社の人員では足りず、下請業者に頼らざるを得ない為、人の入れ替え等で不慣れな労働者が増えています。これらの現状を踏まえた上での安全衛生活動が必要となる為、各作業所では、新規入場者教育の充実はもとより、リスクアセスメントに基づいた危険予知活動を実施し、毎月1回以上の安全訓練を行っております。

また、作業員の高齢化に伴い、健康管理にも配慮し、朝礼では体調聞き取りを行っております。



安全教育



朝礼

## 6. その他の活動

毎年3月に地域の基幹産業である漁業の再開に備え、社会貢献活動の一環として沙留漁港内の除雪と海面の水割りを当社がクレーン船を導入した昭和50年代より継続して実施しております。安全に十分に配慮しながら港内約2万平方メートルに広がる流水をクレーン船の先端に吊したコンクリート塊を使って粉碎し港の外へと送り出します。人力でロープを引いてクレーン船の向きを変える作業には漁業関係者も加わり今では春の到来を告げる地域の風物詩となっており、早期操業に弾みがつ

いたと感謝の声も寄せられております。

また、毎年4月に興部町の漁業関係者及び海岸を利用する住民への奉仕活動として興部漁港とその周辺の海浜清掃に励んでおります。同活動は平成18年度以降毎年実施しており、空き缶やペットボトル、その他の散乱したゴミを興部町の町花である「ハマナス」を傷付けないように気を付けながら拾い集めます。作業終了後には会社にて親睦会を開催し作業の疲れを癒やすとともに、社員同士の親交を深めます。

更に、毎年6月にはホタテやマス・サケなどの栽培漁業の振興方策の一つとして、森から川を通じてオホーツク海に注ぐ水をきれいにする事を目的として沙留漁業協同組合主催により開催されます「植樹祭」に積極的に参加しております。



沙留港内の水割り



海浜清掃



植樹祭①



植樹祭②

## 7. むすびに

先行き不透明な業界の中で、地域に根差し信頼される会社を目指して、日々邁進してまいりたいと思っております。

また、地域の現状においては、人手不足や若手職員の確保が非常に厳しく、これらの問題を解決・改善していく為、引き続き関係諸機関と連携を取りながら事業を進めていきたいと考えております。

# 私の趣味

## 『趣味遍歴』

株式会社 吉本組 吉本 貴昭

「北のみなど」とりわけ「私の趣味」はいつも楽しく読ませていただいておりますが、まさか私にお鉢が回ってくるとは想像もしておりませんでした。しかし先日突然のご依頼があり、躊躇しましたものの、僭越ですが引き受けることとしました。拙文ですが、しばしお付き合いをいただければ幸甚です。

### 野球

物心ついたころより巨人のユニフォームを着せられてからが野球との関わりの始まりだったかも知れません。1歳上に兄がおり、キャッチボールには事欠きませんでした。当時はサッカーもまだメジャーではなく、子供がやるスポーツといえば野球と決まっていたような気がします。

自宅の目の前が野球のグラウンドでしたので、小学校から帰ったらランドセルを玄関に置きすぐさまグラウンドへ直行、友人たちと毎日遅くまで三角野球に明け暮れました。小中では主将も務め、田舎草野球ではありますが多感な時期を野球とともに過ごしてまいりました。

高校は当時の札幌の新設校に進学し、甲子園を目指しました。練習は反吐を吐くほど厳しく、幾度か脱走しかけましたが、何とか持ちこたえることができ、そのかいあって北海道大会の決勝



右が私

まで駒を進め、準優勝という結果に結びつきました。大会では度々まぐれが重なり3本のホームランを打つことができ、スポーツ紙にも数回載せていただきました。（社会面でなくて何よりです）今ではすっかり野球から離れ、体型も二倍ほどに膨れ上がり、当時の面影はすっかり影を潜めてしまった有様です。しかし、学生野球は何ととっても監督をはじめとするチームスポーツ。その時のチームワークや辛い練習などの経験は、現在の仕事を進める上に於いても相通じる点があると思え、私の支えとなっています。



中央が私

### コミック本

私が子供の頃は、野球を題材にした漫画がたくさんありました。今は懐かしい「ちばあきお」の『キャプテン』・『プレイボール』に端を発し、わたくしの収集癖の性格と相重なり、野球ものに限らず少年誌に連載する単行本をコツコツと集めるようになりました。高校進学から実家を離れて暮らし、地元に戻りリターンするまで何年か間がありましたが、母が立派な本棚を増強し大切に保管しておりました。勿論今でも大切に取っておりますが、私が40年前に落書き

した単行本を今では息子たちが読み更けており、その数はさらに拡大中です。「たかがコミック本」と馬鹿にする事勿れ。現在でも結構タメになるエピソードに出くわしたり、愛読書の一つ「ゴルゴ13」の世界情勢や政治経済など広範にわたる知識、あたかも実話と思われる企画構成力に舌を巻く事や、「ドカベン」の友情や人間味のある登場人物には今でも時折涙したりします。寝る前のルーティンとして、小説や雑誌を含めた本を1冊見終わるころに寝落ちというパターンとなっています。近年は、少年期の本を探しに古本屋へ時折足を運ぶことが、慌ただしい中で少ない楽しみの一つですが、本もデジタル化の波が押し寄せ寂しい限りです。



ごく一部抜粋

## 家族のことも

最後には趣味とはいささか話題を異にしますが、家族のことに少しだけ触れたいと思います。家族は6人で大所帯です。普段は家にいることも少なく、子育ては任せっぱなしで、働き方改革を唱える立場としては猛省するばかりです(感謝しております…)お陰様で子供たちも何とかすくすくと育っています。長男は札幌の私立高校二年生でバドミントン部に所属、次男は中学三年で卓球少年、三男は中学一年でバスケットボール部、末っ子の長女は小学五年でヒップホップダンスに明け暮れています。皆それぞれの分野で頑張っているようで、親として目を細めております。

以上、趣味とは大きくかけ離れた取り留めの無い



稀に家庭サービス

ことを書きましたが、ご容赦いただきたく存じます。今回このような機会に触れるにあたり、昔の写真や手紙などを読み返し、様々な思い出を回想し考える良いきっかけとなりました事に深謝申し上げます。

最後に、改めまして、まだ駆け出しの若造ですが、「北のみなと」に関わる、港湾漁港整備の一翼を担えるよう努力していく所存ですので、皆様ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



いつまでも怖い親父…

## 地盤改良船

# 『ばいおにあ第30フドウ丸』をリフレッシュ

(株)不動テトラ

### 1. はじめに

株式会社不動テトラ（東京都中央区 社長:奥田真也）は、平成5年に建造した国内最大級のサンドコンパクション船「ばいおにあ第30フドウ丸」をリフレッシュした。平成30年5月には、千葉港で安全祈願式典を開き、同社幹部や関係会社などから約30名が出席し、航行と施工の安全を祈願した。

### 2. 開発経緯

「ばいおにあ第30フドウ丸」は、平成5年に、当時盛んであった沖合人工島をはじめとする埋立造成事業に対応するため、大水深・大深度施工を可能とする最新鋭のサンドコンパクション船として造船したもので、今日まで海外含め総延長2百万m超の砂杭を打設してきた。その後、大規模な埋立造成事業は一段落し、既設港湾設備の耐震化や機能強化が主流となっているが、輸送の国際競争力を高め、物流ネットワークを強化する政策が推進される中、国際戦略港湾では、大型のコンテナ船やクルーズ船の接岸を可能とする大深度岸壁の整備や耐震化が社会的要請となっており、海洋での地盤改良工事の必要性を見込み、環境対策や安全対策、操船の自動制御など、機能の向上を含めたリフレッシュを実施した。

### 3. 主要仕様

#### (1) 打設可能な砂杭仕様

- ・砂杭径：1,000～2,000mm
- ・砂杭ピッチ：2.0～6.3m
- ・打設深度：水面下70m級  
(艀装により最大水面下70mまで可能)

#### (2) 砂杭造成装置

- ・連装数：3連装
- ・バイプロハンマ：300kW
- ・ケーシング：直径800～1,200mm

#### (3) 船体構造

- ・船体寸法：長70m×幅30m×深4.6m
- ・排水量：4,900ton
- ・リーダー高：艀装により最大水面上90m

#### (4) 機関部仕様

- ・主機関：3,000PS×2台
- ・補機関：155PS
- ・主発電機：2,500kVA×2台
- ・補発電機：125kVA



ばいおにあ第30フドウ丸全景（石狩湾新港北防波堤建設工事にて）

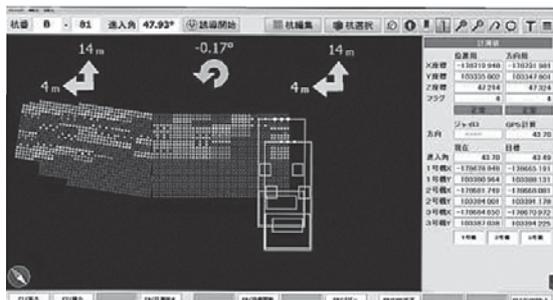
## 4. リフレッシュに伴う新機能

### (1) ネットワーク型RTK-GPS測位 (VRS方式) を導入

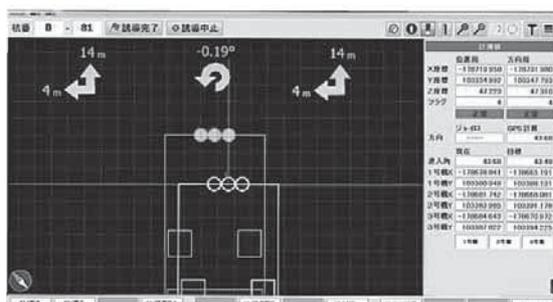
VRS (Virtual Reference Station) は、仮想基準点方式と呼ばれ、複数の電子基準点の観測データから、測量箇所のごく近傍に基準点があるかのような状態を作り出す技術である。電子基準点は、国土地理院より提供されている

VRS-GPS (ネットワーク型RTK-GPS測位) を利用した測位システムを用いることで、GPSにより作業船の位置をリアルタイムに計測し、打設位置に作業船を精度よく移動、固定させることが可能である。

VRS-GPSは、従来のRTK測量に比べて、固定局の設置が不要となり、測量作業者の人数を削減できるとともに、測量準備作業も軽減される。



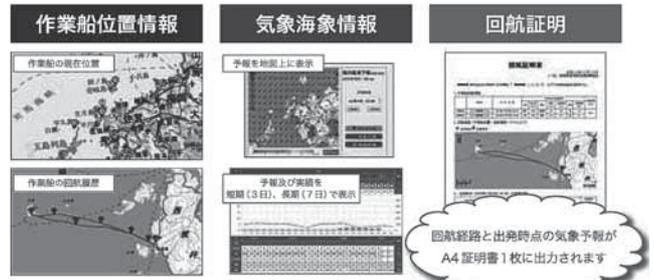
VRS-GPS 測位システム 標準画面



VRS-GPS 測位システム 誘導画面

### (2) 作業船位置・回航情報システム導入

作業船位置・回航情報システム (全日本漁港建設協会) は、作業船の管理運用に必要な様々な情報をインターネットで提供するシステムである。パソコン、スマートフォンのブラウザで閲覧できるため、遠隔にある管理事務所などで、リアルタイムの情報を得ることができる。また、作業船の位置情報の他にも、気象海象情報や回航証明の出力も可能である。



作業船位置情報システムの出力例

## 5. 施工設備、住居環境リニューアル

海上サンドコンパクションパイルの施工において、施工設備の故障は、安全性を損ねるとともに、工期の遅延などに繋がる。施工設備のリニューアルにより、作業の効率化と安全性の強化を図っている。

また、船員室や厨房、空調設備などをリニューアルすることで船員の快適な住居環境を整えている。



ベルトコンベヤー設備



ウインチ設備



操舵室設備



船内厨房

## 6. おわりに

建設業界の喫緊の課題である担い手確保や働き方改革などについて、国も積極的に施策を進めている近年では、生産性の向上や後継者の育成が不可欠である。作業の効率化と安全性の強化を図り、生産性を向上させ安心して働ける作業環境を整備することは、これからの港湾事業にも必要なことである。

今後、様々な港湾プロジェクトへの適用に向けて、新しくなった『ぱいおにあ第30フドウ丸』の積極的な営業を展開していきたいと考えている。

# イベント

## 全国の港湾初! 農水産物輸出促進を 目的とした屋根付岸壁

～苫小牧港西港区汐見地区屋根付岸壁整備事業について～

北海道開発局 室蘭開発建設部

### ■はじめに

苫小牧港沖には豊かな漁場が形成されており、水揚げ日本一を誇る「苫小牧市の貝」ホッキ貝を始め、スケトウダラ、サケなど100種類以上の魚種が水揚げされてい

ます。苫小牧港西港区汐見地区は、主に漁船が利用する小型船溜まりを有しており、背後には漁業協同組合の倉庫や、水産物を取り扱う卸売市場などが立地する水産物の水揚げ拠点となっています。



供用式典写真(テープカット時)



堀井衆議院議員



佐藤衆議院議員



山岡衆議院議員



神谷衆議院議員



小川参議院議員

しかし、既存の岸壁は建設から40年以上が経過しているため老朽化が進行していました。加えて、漁業従事者の就労環境や水産物の品質低下への対策も喫緊の課題となっていました。

そのため、老朽化した岸壁の改良による延命化とともに、水産物の品質低下の回避、漁業従事者の就労環境の改善のため、岸壁を屋根で覆う「屋根付岸壁」の整備を平成29年度から着手しました。屋根付岸壁は全体3棟、251mを予定しており、平成30年3月に第1棟目となる52m（第1期）が完成し、同年4月に供用を開始しました。

### ■供用式典

今般、完成・供用を迎えた屋根付岸壁（第1期）は、農水産物の輸出促進を目的とした港湾施設としては全国で初めてとなるため、5月19日（土）に供用式典を開催しました（主催：苫小牧港管理組合・国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部）。式典には約90名が出席し、主催者である岩倉苫小牧市長と平野室蘭開発建設部長による式辞の後、菊地国土交通省港湾局長が挨拶を行いました。

これを受けて、来賓の挨拶に立った地元国会議員の方々（堀井学衆議院議員、佐藤英道衆議院議員、山岡達丸衆議院議員、神谷裕衆議院議員、小川勝也参議院議員）より祝辞をいただきました。

その後、別所（前）苫小牧港湾事務所長から「事業概要」、伊藤苫小牧漁業協同組合代表理事組合長より「輸出促進の取り組み」について報告があり、最後に来賓や関係者によるテープカットが執り行われました。

### ■おわりに

本事業は、政府目標である2019年に農林水産物・食品の輸出額1兆円、2030年に5兆円の実現に貢献することが期待されます。そのため、室蘭開発建設部としては、全3棟を1日も早く完成させるべく、引き続き鋭意事業を進めていきます。



屋根付岸壁利用状況



屋根付岸壁（第1期）完成写真

# 室蘭・宮古フェリー航路開設

## ■室蘭港の概要

室蘭港は、国際拠点港湾であり、東京ドーム約300個分の広大な静穏水域を有しており、臨海部に製鐵、製鋼、石油化学などの企業が立地し、北海道を代表する工業都市及びものづくりのまちとして全国的に評価されています。

崎守地区には、崎守多目的国際ターミナルがあり、国際コンテナ航路の定期航路があるほか、鋼材の積み出しや総トン数10万トン以上の大型の客船の受入にも対応することが可能なほか、入江地区の中央ふ頭旅客船岸壁については、中小型の客船の受入に対応し、客船入港時には乗船客や市民で賑います。

## ■フェリー誘致の経緯

室蘭港のフェリー航路は、昭和42年の青森航路を初めとして、過去には同時最大5航路があり、多くの方々にフェリーを利用いただいていたのですが、燃料高騰等によるフェリー会社の経営状況の悪化から、航路の廃止が続き、平成20年には同フェリー会社が運航事業から撤退し、室蘭-青森港を含む全てのフェリー航路が廃止されました。

平成20年9月8日の室蘭青森航路廃止の発表を受け、同11月には室蘭港へのフェリー航路の誘致を図ることを目的に「室蘭港フェリー航路誘致促進期成会」を設立し、要望活動を開始。航路誘致に向け、地元港湾関係会社、関係行政機関と連携し、活動を行うとともに、平成24年2月には、室蘭港貨物等輸送研究会を発足し、北海道発着貨物等の状況把握を踏まえ、室蘭港の取扱貨物の多様化に向け、

フェリーを含めた海上輸送への展開について調査研究を行って参りました。

そうした取り組みを行ってきた中、川崎近海汽船様より、平成27年3月、「宮古～室蘭のフェリー航路の開設を検討する」と公表していただき、トラック業界からの運転手の労働環境改善のため、船内で8時間以上の休息が取れることや室蘭港、宮古港ともに近隣に国立公園など観光資源が非常に豊富で観光需要が見込めることから、「平成30年6月の航路開設」が決定されました。

## ■フェリーターミナル概要

室蘭港フェリーターミナルは、当時室蘭港で運航していたフェリー会社が平成6年に建設し、航路廃止に伴い、平成23年に室蘭市に譲渡されたものですが、この度の室蘭～宮古航路開設にあたり、改修工事を昨年5月に着手し、本年3月に完成しております。本年5月22日には「室蘭港フェリーターミナルオープン式」を執り行い、式典には、港湾関係者ら約50名が出席、10年ぶりとなるフェ



室蘭港全景

リー就航に向け、来賓よりお祝いの言葉をいただき、最後には、滝口北海道議会議員、北海道開発局 眞田港湾空港部長、北海道運輸局 佐藤海事振興部長、川崎近海汽船(株) 寅谷常務取締役ら8名によりテープカットを行い、リニューアルオープンを祝い、同日には、川崎近海汽船株式会社室蘭支店の事務所が開所されました。

### ■ 6月22日フェリー就航

大勢の市民が見守る中、18時に室蘭市と岩手県宮古市を繋ぐ10年ぶりとなる定期フェリー「シルバークイーン」第1便が、カラー放水の中、室蘭港に到着しました。

フェリーターミナルビルでは、市内小学校児童の国際信号旗による歓迎の旗振り、市内中学校吹奏楽部による

歓迎演奏、入港セレモニーでは、フェリーで来蘭された山本宮古市長、古館宮古市議会議長、花坂宮古商工会議所会頭、川崎近海汽船(株)寅谷常務取締役との記念品交換を行い、出港セレモニーでは、関係者によりテープカットを執り行い、乗客325人と乗用車やバイク、そして肉牛や雑貨などを積んだトラックが続々と乗り込み、20時にはペンライトを手にした大勢の市民に見送られながら、室蘭港を出港しました。

今後も室蘭～宮古フェリー航路の安全航行と安定的な維持のため、関連企業等への周知・要望を行うとともに、地域経済発展のため、両市でのフェリー周知や観光PRを行って参りますので、各関係機関の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



室蘭港フェリーターミナルビル



オープン式典



出港セレモニー



出港

# 大型客船等寄港

## 今年度初となるクルーズ客船 「ノルウェー جان・ジュエル」が小樽港へ初寄港

小樽港の今年度初となるクルーズ客船として、バハマ船籍の「ノルウェー ジャン・ジュエル」(93,352t)が5月11日(金)、小樽港勝納ふ頭に寄港し、船内で歓迎式典が行われた。

同船は米国や英国などの乗客約2,300人を乗せ、函館港などを経て午前8時に小樽港に初入港した。

式典は小樽港クルーズ推進協議会の主催。小樽市や観光関係者ら約20人が参加した。参加者は船内のプールやシアター、レストランなどを見学し「素晴らしい設備だ」と感想を述べた。その後、ブリッジでジョルジョ・ボンリーノス船長ら乗組員と式典に臨んだ。

式典では小樽市長が「小樽は日本でも有数の観光地、小樽運河など歴史を感じさせる街並みや、おいしい食をたのしんで」と挨拶。ボンリーノス船長も「乗客だけでなく乗組員一同も小樽に来るのを楽しみにしていた」と応え、記念品の交換を行った。

乗客の多くは船を降り、小樽や近郊の観光を楽しんだ。同船は11日午後6時に次の寄港地、ロシアのペトロパブロフスクに向けて出港した。同船は今年10月2日にも小樽港に寄港する予定。

(記事は北海道新聞から抜粋して記載)  
(写真提供は北海道開発局 小樽開発建設部)



勝納ふ頭に接岸した「ノルウェー ジャン・ジュエル」



歓迎する小樽市民

# 釧路港にクルーズ客船 「ばしふいっくびいなす」寄港

7月13日（金）12時40分ごろ釧路港東港区耐震・旅客船ターミナルに、プレミアム・ラグジュアリ客船「ばしふいっくびいなす」（総トン数26,594トン、乗客定員620人）が3年ぶり寄港した。

当初15時入港の予定であったが、前港寄港予定の根室港が抜港となったため、急遽1時間20分早く乗船客240名を乗せ接岸した。今回は「横断幕」、「お出迎えソング」、「キャラクターつるまるくん」によるお出迎えを行い、

船上で踊って応えてくれた乗船客もいた。

下船した乗船客は、ツアーバスで釧路湿原や霧多布湿原へ。また、シャトルバスで釧路市内めぐりや、散策など釧路滞在を堪能していた。

出港時には「寿子ども蝦夷太鼓」を披露、当日19時に釧路の夕日をモチーフにしたオレンジ色のバンダナに見送られ、次港宮古港に向け釧路港を出港しました。



市内から見た「ばしふいっくびいなす」



旅客船ターミナルの様子



「寿子ども蝦夷太鼓」の披露

# 雪が残る利尻島に 「カレドニアン・スカイ」寄港

今シーズン初のクルーズ客船「カレドニアン・スカイ (4,200トン)」が5月24日、残雪がまだ多く残る利尻富士がある利尻島の沓形港に寄港した。好天にも恵まれ海外から訪れた乗客・乗務員合わせて約200人が、丸1日島内に滞在し、徒歩での森林浴や野鳥観察、貸切バスでの島内1周など利尻島観光を満喫していた。

利尻町観光協会によると乗客の多くはアメリカ人で利尻島やコルサコフを含めて、礼文島、天売島、稚内、小

樽など日本海側のほか、知床、東北地方を巡る。

「カレドニアン・スカイ」は、小さめの船体であることから小さな港を寄港するツアーとして人気があるとのこと。

今後においても利尻島に寄港する国内船のクルーズ船も8回程度予定されており、利尻町活性化協議会など町民有志が歓迎イベントにも力を入れることで、島内滞在中の経済効果を期待している。



沓形港に寄港したカレドニアン・スカイ (写真提供は稚内開発建設部)

# 各港で舟漕ぎ大会、 ボートレース開催

## 釧路港舟漕ぎ大会

第14回釧路港舟漕ぎ大会（釧路港舟漕ぎ大会実行委員会）は、8月4日（土）くしろ港まつりに合わせ「国際バルク戦略港湾“新たな飛躍”」をテーマに釧路川の幣舞橋と久寿橋間を会場に開催した。

今年度の出場チームは、一般の部に58チーム、女性の部に20チームが出場。片道100mのコースを漕ぎ手6名、声掛け1名、旗持ち1名の8名が乗船、往復200mをタイムで争った。

レースは午前8時40分の来賓者一同によるピストル宣言で、一般の部予選がスタート、女性の部予選、一般の部準決勝と進み、午後からは風、潮の流れを少し感じながら、女性の部、一般の部の決勝レースが始まった。実力チーム揃い、激しくも華麗な展開を繰り広げ、女性の部は漕ぎまくり隊が2分28秒で優勝、一般の部はラビッツが1分50秒で優勝した。また、観客が楽しめる優勝当てクイズや写真コンテストは今年度も実施した。



開会式の様子



来賓者一同によるピストル宣言



一般の部のレース



女性の部のレース

## 苫小牧港 はすかっぷボートレース

苫小牧港西港区北ふ頭のキラキラ公園では8月4日、第20回みなとフェスティバル（苫小牧港建設会社連絡協議会主催）と、メインイベントの第10回はすかっぷボートレース（実行委員会主催）が行われた。

同協議会は市民に海や港を身近に感じてもらうと1999年から同フェスタを開催し、会場には焼き鳥などの模擬店が並んだほか、室蘭開建が苫小牧港の歴史などを紹介するパネルなどを出展し、訪れた親子連れが「ぼーとん、べいくりん」と写真を撮るなど、多くの市民らで賑わいを見せていた。

ボートレースには、市内の企業などを中心に21チームが参加し、開催に当たって宮崎英樹実行委員長から「多くの人々に参加していただき、ありがたい」と感謝。来賓の岩倉博文市長は「心配した天気もまずまずのコンディション。是非優勝を目指して頑張って」とエールを送った。

レースは5人1組でゴムボートを漕ぎ、予選では150mのタイムを競い、本戦はトーナメント戦で、2チームが220mのコースで対決し勝敗を決めた。優勝は市内のアムレスリングチームの「パンプアップ塾」で5万円相当の商品券を手にした。



全員力を合わせ ソーレ



負けるな 頑張れ



レースを見守る観客



「ぼーとん、べいくりん」と仲良しだよ

## 函館ペリーボート競漕

函館港まつりの協賛イベントで、8人乗りの手漕ぎボートでスピードを競う「函館ペリーボート競漕」が7月29日（日）、函館港の若松南埠頭前で開かれた。市内などから52チームが出場し、照りつける太陽の下、熱戦を繰り広げた。

1854年（安政元年）にペリー艦隊が箱館に入港した際、箱館奉行が8人乗りの小舟で艦隊に向かった史実に由来するレースで、2009年に開港150周年の記念イベントと

して初開催され、今年で10回目となる。

レースは一般の部42チーム、女子の部10チームに分かれ、往復150mのコースに2～3隻ずつ出場、1位が勝ち上がるトーナメント方式で競った。ボートには、漕ぎ手6人が船の左右に分かれ、先頭にドラの叩き手、後方にかじ取り役が乗り込み、優勝を目指して合図とともに一斉に漕ぎ出した。途中で勝負が決するレースもあれば、最後に追い抜くレースもあり、岸壁から歓声が上がっていた。



力漕する参加チーム

## 第7回むろらん港鉄人舟漕ぎ大会

第7回むろらん港鉄人舟漕ぎ大会が9月2日、スワンフェスタ2018に合わせて室蘭港中央埠頭旅客船バースで開かれ、胆振管内の事業所や官公庁などから30チームが参加し熱戦を繰り広げた。初出場で新日鉄住金室蘭アイスホッケー部員がつくる「すてぃーらーず」が1分50秒32で優勝した。

ボートは全長7mで、漕ぎ手6名のほか任意で声掛け役と旗持ちがそれぞれ1名乗船できる。レースは150m

(往路90m、復路60m)のコースで、3隻1組の予選を行い、タイム上位9チームによりトーナメント戦で優勝を争った。

この日は快晴で波は穏やかだったが、思うようにバランスを取れず、コースを外れるチームも。それでも漕ぎ手の掛け声とともに懸命にゴールを目指す選手に、温かい声援が送られていた。



他の舟は見えませんが余裕の1位でしょうか



し烈な首位争いをしています

# みなと南極祭り・稚内副港 ボートレース2018

稚内地元愛育成協議会など主催の「みなと南極祭り・稚内副港ボートレース2018」が8月5日（日）に稚内第1副港で職場の仲間、各学校のPTA、友人同士や今年度初出場の女性チームを含む25チーム約300人が参加して開催された。

当日は約3,000人の来場者があり、波は穏やかで絶好のコンディションのもと、直線80mの折り返しコースを予選2回のベストタイム上位9チームがセミファイナルに進出した。

レースは、1艇漕ぎ手8人、舵取り・音頭取り各1名の10人が乗り込み、威勢の良い掛け声とともにスタートし、折り返しで苦戦するチームもあったが、年ごとに操船技術も向上して好タイムが続出した。

激戦を制してセミファイナルで勝ち上がった「Fuck'n Crew」、「アルフォート」「24's」の3チームによる決勝が行われた結果、大熱戦の末、昨年準優勝の「Fuck'n Crew」が見事に優勝して賞金15万円を手にした。



稚内ボートレース「アトラクション」



稚内ボートレース

「写真提供：稚内開発建設部」

## Information

### ◎広報委員会だより◎

平成30年9月現在の広報委員会は次表のとおりです。

委員長	金子 功	東亜建設工業(株)
副委員長	白川 隆司	東洋建設(株)
(部会長)	東 志郎	萩原建設工業(株)
(副部会長)	大前 豊	五洋建設(株)
	荒井 直人	東亜建設工業(株)
	石島 隆司	近藤工業(株)

	高田 稔年	あおみ建設(株)
	千葉 不二夫	勇建設(株)
	毛利 照男	釧石工業(株)
	森 信幸	(株)不動テトラ
	渡辺 修司	(株)菅原組
	渡部 優	菱中建設(株)

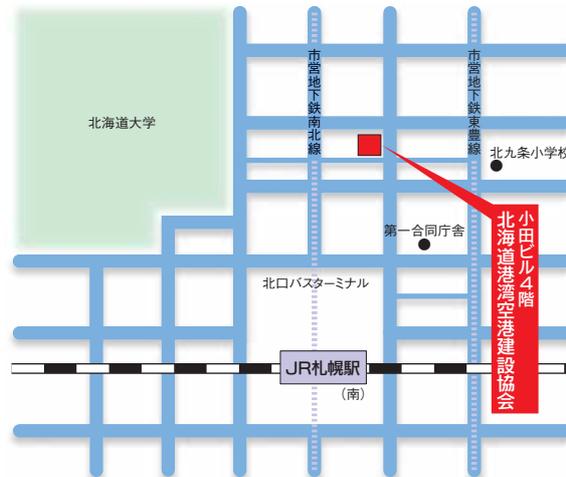


畜養施設・利用状況



〔写真提供：函館開発建設部〕

## 北海道港湾空港建設協会 案内図



## 会報「北のみなと」No.95

発行年月 平成30年9月  
 発行 北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹  
 札幌市北区北9条西3丁目10-1 (小田ビル4階)  
 TEL (011) 707-4731 FAX (011) 707-4733  
 http://www.hokkaido-kkk.jp  
 Email:hkkk@h4.dion.ne.jp  
 編集 北海道港湾空港建設協会 広報委員会  
 編集責任者 東 志郎  
 印刷 (株)須田製版